令和８年度第１回弘前市廃棄物減量等推進審議会　発言要旨

○ **日　時**　令和８年10月８日（木）14：00～16：00
○ **場　所**　弘前地区環境整備センター管理棟２階　大会議室
○ **出席者**　樋口会長、太田委員、阿保委員、安東委員、飯田委員、石塚委員、加藤委員、對馬委員、佐藤委員、神委員、三橋委員、宮川委員
○ **欠席者**　なし
○ **事務局**　佐藤市民生活部長、葛西環境課長、鼻和課長補佐、三上課長補佐兼町田事業所長、清藤ゼロカーボンシティ推進係長、竹谷主幹兼廃棄物対策係長、石岡町田事業所技師、幸山廃棄物対策係主事

○ **内　容**

１　開会（進行：鼻和環境課長補佐）

２　委嘱状交付
佐藤部長から委員へ委嘱状を交付後、佐藤部長より挨拶。

３　会議（進行：樋口会長）
(1)【案件１】ごみ処理の状況
⇒【資料１】について、事務局から説明を行った。
《質問・意見等》
・廃棄物からの資源回収率には、オフィス町内会で回収した量は含まれていないという理解でよろしいか。
→含まれていない。
・事業系ごみの数値があまりよくないが、例えばごみ量が少ない他県の市町村の取組などは把握しているものか。
→確実に減るという根拠は不明だが、一般的にはごみを有料化しているところはごみが少ない傾向がある。

(2)【案件２】令和７年度廃棄物施策の実施状況
⇒【資料２】について、事務局から説明を行った。
《質問・意見等》
・個別の分別説明会は４５回で 1,300 人、市が開催した説明会は４９人だが、開催するにあたりもう少し周知を徹底したほうがよかったのではないか。例えば人が集まる場所を工夫するとか。
→市が主催したのは町会に入っていない方などは説明を聞けないという問題があるので

開催したもの。また、いくつかのエリアで実施しているのはあまり遠いと利便性が悪いと言われることを踏まえて判断したもの。

・アパートなどへのごみ日程表の配付をしていないのか。

→配達はしていないが、申し込みのうえ取りにきてもらう対応をしている。

・４月に日程表を入手できない方が周りにたくさんいた。ヒロロにいけばもしかしたらもらうことができるのかなと思って行ったがなかった。入手のしかたがわかりにくいので、せめて市の出張所などに置いてもらえれば親切だと思った。

→不動産によってはサービスが異なるので、ごみを出す本人が不動産に頼るのではなく、自分で日程表など情報を入手してもらいたい。また、ヒロロには基本置いているが、住所によって数種類あり、どれが正しい日程表か判断できない場合があるので、誰でも手に取れるような場所には置いていない。

・無色透明袋に入れられていないプラスチックに対し赤いステッカーを貼られて置きっぱなしになっているが、それになんらかの対策が必要ではないか。

→ごみ集積所を利用する者や管理者が自分事として捉えなければ改善しない問題である。

・ごみ出しサポート事業の実績が下降気味になってきているが、背景や今後の見通しは。

→サービス開始当初は一気に増加したが、そこからは新規認定と廃止などがコンスタントに続いているため、横ばいの状況が続くと思っている。

・変なごみ出しされているものを誰も持って帰らず、全て廃棄物減量等推進員任せとなっている。この制度についてどのような考えであるのか。

→町会側ではごみ集積所を管理するかのような意味合いで受け止めている方が多いと思うが、ごみ集積所は使っている方々で管理するものであるため、実態と合っていないところに課題があるものと認識している。市としては、この課題をどうやったら解決できるのか取り組んでいく必要がある。

（3）【案件３】プラスチック資源の分別収集の状況

⇒【資料３】について、事務局から説明を行った。

《質問・意見等》

・収集事業者からはどのような意見が出ているのか。

→不適正な出し方により、赤いステッカーを貼る量が増えて大変なのではないかと認識している。

・燃やせるごみが減ったことによるマイナス面などあれば伺いたい。

→燃やせるごみからプラスチックが減ると燃焼カロリーが低下し、重油などを足さなければ温度が下がりダイオキシンが発生するのではないかということかと思うが、ここの焼却施設では重油を足さずとも必要な燃焼温度を確保できている。

・プラスチックの見込み量が増えたということについて伺いたい。

→当初の年間計画は約４６０トンだったが、３か月で超えてしまったことから、見込みを改めて１，９５１トンとしている。

・「プラスチック資源」という名称を使用したことは好ましいと感じている。今後、市民

にこの分別をすることでリサイクル率がどのように好転するのかなど見込でもいいのでお知らせしたほうがよいと思う。

→こちらとしても必要なことだと思っている。なお、令和６年度のごみ量ベースでざっくり計算すると、３～４パーセントリサイクル率は上昇するのではないかと見込んでいる。

・１１月から始まる町会連合会保健衛生座談会に合わせて出来上がったプラスチックなど持ってきてもらえないものか。

→サンプルを借りることができれば対応する。

(4)【案件４】令和８年度の施策案

⇒【資料４】について、事務局から説明を行った。

《質問・意見等》

・不適正排出対策を啓発するチラシを県環境管理事務所に置くことは可能である。なお、解体したときに残る基礎などはどのように対応しているのか。

→基礎を処理することができる施設はない旨を伝えており、その先どのように処分しているのかまで調査はできていない状況。

・一般廃棄物の許可を持っている産業廃棄物の処理業者もいるため、そういったところに許可発令または委託などで対応することも方向性としてはあるのではないか。

→その方向性で検討し、許可を発令したが思うように多くの品目については処分することができないと事業者から示されている。

(5)【案件５】弘前市埋立処分場に係る処分手数料の改定

⇒【資料５】について、事務局から説明を行った。

《質問・意見等》

・料金引き上げの必要性は理解できるので賛同する。

(6)【案件６】その他

⇒次回審議会では、ごみ収集を管理しているシステムについて、委員から評価をいただきたい旨を予告した。

《質問・意見等》

特になし。

４　課長挨拶

５　閉会（進行：鼻和課長補佐）

○　資料

・【資料１】ごみ処理の状況
・【資料２】令和７年度廃棄物施策の実施状況
・【資料３】プラスチック資源の分別収集の状況
・【資料４】令和８年度の施策案
・【資料５】弘前市埋立処分場に係る処分手数料の改定

○　公開・非公開の区分…「公開」